

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 地域食農連携プロジェクト推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 地産地消係 電話番号：058-272-1111(内4065)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,000 千円 (前年度予算額： 10,000 千円)

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

地域の農林水産物が地域産業の中で有効活用されるように、地域の食と農に関する食品事業者、流通業者、観光業者等の多様な事業者が参画した6次産業化や地産地消等の取組を推進するための地域食農連携プロジェクト(LFP)を構築し、地域の関係者が自発的に企画・実行する持続的なビジネス創出に必要なプロジェクト経費等を支援する。

(2) 事業内容

事務務局を設置し、以下の支援業務を実施する。

①プラットフォームの形成

地域の農林漁業者や食品関連企業等のネットワークを構築し、新たな事業創出に向けたプロジェクトパートナーのマッチング支援及び進行管理等を実施する。

②プロジェクト経費の助成

プロジェクトの事業戦略に基づき選定された1品目の商品開発について、加工に取り掛かる前の試作品の製作から商品デザイン、販路及び原材料確保等の商品製造及びローカルフードビジネスの創出に至るまでの費用を助成する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫支出金を財源とし、県負担はない。

(4) 類似事業の有無

国庫事業のため全国で実施可能

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	6,000	プラットフォーム形成、推進支援 等
補助金	4,000	プロジェクト経費助成
合計	10,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

ぎふ農業・農村基本計画

(2) 安心して身近な「ぎふの食」づくり

①地産地消県民運動の展開

地域資源を活用した6次産業化の推進

(2) 国・他県の状況

令和4年度は20道府県が取り組んでいる

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

○ぎふ農業・農村基本計画

農産物の付加価値を高め、農業者の所得向上に繋げるため、農業者自らによる加工・販売や商工業者と連携した魅力ある商品開発など「農業の6次産業化」を一層進める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R元)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
① 6次産業化法に基づく総合化事業計画の認定事業者数（累計）	93	98	106	108	111	88%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	令和2年度は実施なし
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	<p>・地域の農林漁業者や食品関連企業等でプラットフォームを形成し、社会的課題解決にも向けた商品開発を行った。 地元農家が岐阜県産野菜をペースト化したものを使用し、幼児食スープ「GIFUTOSOUP」を商品化した。</p>
	指標① 目標：102 実績：98 達成率：96 %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	農業経営においては依然として生産活動が主体で、市場ニーズへの対応が十分でないことから、所得確保のため農業者自らが加工・販売に取り組む6次産業化を進める必要がある。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	本事業に取り組むことにより、社会的課題解決と経済性が両立する新たなビジネスを継続的に創出する仕組みづくりをすることで、農林漁業者の所得向上にも寄与される。
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	多様な知識を持つ専門家派遣事務および研修会の企画実施等を、民間事業者に委託して事業を実施することにより、効率化が図られている。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 6次産業化に取り組む農業者が抱える多種・多様な課題への対応が求められている。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 6次産業化の促進は国の成長戦略にも位置付けられており、本事業による地域の農林水産物を活用したローカルフードビジネスが創出されることで、さらに地域一体となった6次産業化の取り組みに繋がるのが期待できる。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】